

仏教以前、仏教伝来

OVERVIEW

- 日本文化・宗教の始まり
- 仏教とは何か
- 仏教伝来
- 奈良仏教

日本文化・宗教の始まり

始まりの時代

- 縄文時代・弥生時代
- アニミズム
- 古墳時代
- 卑弥呼に代表されるシャーマニズム



日本文化・宗教の起源

- ポリネシア・メラネシアからの影響：「水平的な」神話、海（彼岸）と結びつく神性
- 南方からの影響：稲作を中心とする農耕儀礼（神道の起源）
- 北方（朝鮮半島、モンゴル）からの影響：「垂直的な」神話、天と結びつく神性
- 中国・朝鮮半島からの影響：仏教、儒教、道教

仏教とは何か

仏教の開祖・釈迦

- 前5世紀頃、ルンビニ（現在のネパール）で誕生。
- 釈迦は釈迦牟尼の略。釈迦は彼の部族名もしくは国名で、牟尼は聖者・修行者の意味。「釈迦族の聖者」という意味の尊称。本名（俗名）はゴータマ・シッダールタ。
- 生涯：出家（29歳）、悟り（35歳）、初転法輪（仏・法・僧がそろった仏教の成立）、入滅（80歳、遺骨は分けられストウパ〔仏塔〕に）
- 【参考】五重塔などは、ストウパから発展したものの。仏舎利を安置。



仏教の教え

- 中道（The Middle Way）
- 四諦（The Four Noble Truths）
 - 苦諦（The Truth of Suffering）
 - 集諦（The Truth of the Accumulation of Suffering）
 - 滅諦（The Truth of the Elimination of Suffering）
 - 道諦（The Truth of the Path that Leads Away from Suffering）
- 縁起（The Dependent Arising）

仏教教団の種類

- 部派仏教：上座部（Theravada）と大衆部
- 前1世紀頃から、大乘仏教（Mahayana Buddhism）が台頭。
 - 上座部を「小乗」（Hinayana）と呼ぶ。

ガンダーラ美術（1-5世紀）



仏教伝来

仏教伝来

- 仏教伝来（The Coming of Buddhism, 538年または552年）
 - 百済の聖明王が、欽明天皇に金銅製の釈迦像や仏典などを贈る。
- 仏教受容をめぐる争い
 - 物部氏・中臣氏：外国の神である仏を招くことは、日本の神祇の怒りを招く。
 - 蘇我氏：大陸文化の摂取に積極的。
- 587年、蘇我氏が物部氏を滅ぼす。用明天皇が仏教に帰依。

聖徳太子 (厩戸皇子)

- 聖徳太子 (Prince Shotoku, 573-621)
 - 用明天皇の子
- 十七条憲法 (604) Seventeen Article Constitution
 - 「篤く三宝 (仏・法・僧) を敬え」 (第二条)
- 法隆寺 (607年、世界最古の木造建築)、四天王寺などを建立
- 日本最初の仏教文化 (飛鳥仏教) を生み出す。



法隆寺



奈良仏教

奈良時代 (710-794年)

- 律令制国家の成立：仏教は国家宗教として国民統治の役割を果たす。
- 南都六宗 (six sects of Nara Buddhism)
 - 華嚴、律、法相、三論、俱舎、成実
 - 律宗：鑑真 (688-763) によって伝えられる。
 - 法相宗：法隆寺 (1950年、聖徳宗として独立)、興福寺、薬師寺、清水寺 (1965年、北法相宗として独立)
 - 華嚴宗：東大寺、大仏 (The Great Buddha) 建立

大仏建立 (749年)

- 742年、聖武天皇は全国に国分寺と国分尼寺をつくる。東大寺は総国分寺。
- 大仏は華嚴宗の本尊・盧舎那仏。
 - 盧舎那仏の原語はサンスクリットの「ヴァイローチャナ」。密教における大日如来 (マハー・ヴァイローチャナ) も同じ語源を持つ。

東大寺 (世界遺産)



手塚治虫『火の鳥』4 鳳凰編



民衆仏教 (Popular Buddhism)

- 国家仏教の枠を越えて、民衆の間に仏教が広まる。
- 行基 (668-749)
 - 717年、行基の集団は人心を惑わすとして弾圧される。
 - 745年、朝廷は行基を最初の「大僧正」に任じる。

